

里親学生支援室だより NO. 29

発行日: 2025/4/14 発行元: 里親学生支援室



2025/3/18 (火)・19 (水)

高島市・湖西地域方面での宿泊研修を実施しました!

「高島市・湖西地域方面の医療と歴史・文化を学ぶ」と題し、3月18日(火)～19日(水)に春期休暇期間を利用して、NPO法人滋賀医療人育成協力機構及び滋賀県医師キャリアサポートセンターと協同で宿泊研修を実施しました。台風の影響で8月から延期となっていました。今回は本学学生20名(医学生16名、看護学生4名)と滋賀県立大学から2名の参加もあり総勢22名での研修となりました。

1日目 藤樹書院跡

地域散策では安曇川町にある中江藤樹の住居跡・講堂跡である藤樹書院跡を訪問しました。江戸の儒学者 中江藤樹の生涯や教えについてお話しいただきました。



この地域で活動される方々の精神性や生き方の軸を知れたのではないかと思います。医学科 第2学年

災害時に避難することができない人に対し、訪問看護施設が情報共有したり、地域で協力したりして取り残されないような対策をしていることを学んだ。看護学科 1年

交流会〔今津サンプリッジホテル〕

〔第1部〕講演会・意見交換会等
「高島地域を知り地域に求められる医療職になろう～医療職・行政職の立場から～」
高島市民病院 病院事業 在宅療養支援部長 訪問看護認定看護師 武内 美英子 氏



第1部では、武内在宅療養支援部長から高島市の訪問看護や地域との連携についてお話いただきました。第2部では、研修先でお世話になった方々や里親、室員の先生方と情報交換を行いました。第3部では、参加学生同士で交流しました。



2日目 マタセコイア並木



琵琶湖周航の歌資料館



総合診療を軸として医療を始めたわけではなくそれぞれの専門分野から地域医療に派生されており地域医療として総合診療を行うだけでなく専門を持つということが大切だと感じました。医学科 第3学年

今津ウォーリス資料館



まつもと整形外科

新旭町で開業されているまつもと整形外科に訪問させていただきました。松本先生ご自身が開業を決意されたきっかけや開業医としてのやりがい、勤務医時代のご経験や苦労された思い出等、それぞれにメリットとデメリットがあることを教えていただきました。



総合診療に携わることを前提としたキャリア形成と、そうではなく専門を持ちながらも総合診療の業務にも携わるキャリア形成の違いについて考える機会を頂けたのは非常に良いことであったと思う。医学科 第1学年

2日に分かれて研修

高島市訪問看護ステーション

訪問看護認定看護師の武内在宅療養支援部長に施設の説明を行っていただき、利用者の方のケアだけではなく、生活の中で医療・介護をどのようにプラン立てて観察していくことが大事であることや、顔色や声などから、利用者の方がどのように感じたかを考えるなど、五感を大事にしてもらいたいと学生たちにお話しいただきました。



在宅医療において意識してみなければ気づけないような些細な変化に気づける観察力・注意力の大切さを教えていただきました。看護学科 第1学年

慢性期・急性期の患者の受け入れの体制が、病院ごとに役割分担がしっかりとなされており、訪問看護ステーションも含めて地域包括的に医療圏を形成しているということが見てとれた。医学科 第3学年

病院のように医療器具が豊富に無い場面であっても、五感を使って全身で患者さんのバイタルサインを観察することを大切にされていて、非常に興味深い内容でした。看護学科 第2学年

朽木診療所

永らく滋賀県で唯一「村」であった朽木地区にある朽木診療所を訪問させていただきました。西田所長から始めに朽木地区の特徴についてお話しいただき、この地域が抱えている超高齢化問題、移動手段の確保や医師不足など様々な課題点についてご説明いただきました。



決して医療資源が潤沢とはいえない地域で、チームで医療の維持に取り組む現場からの学びは大きかったです。医学科 第1学年

各地域の特性や時期に合わせて生じる疾患が変化しており、それに基づき必要とされる医療が変化し、その足りない部分を埋める存在である総合診療医のニーズが高まっています。医学科 第2学年



超高齢化社会よりもさらに高齢化した地域での医療を知ることができ、大変貴重な学びを得ることができました。これから日本はさらに高齢化していくため、日本の未来の医療の在り方を考えさせられました。医学科 第2学年

今津病院

仁賀事務長、佐々木循環器内科部長から今津病院の概要、前川リハビリテーション室長から回復期リハビリテーション棟の特徴、竹本課長からは地域包括ケアシステムの必要性についてお話しいただきました。



地域医療について、更に知識を深め様々な視点から考察できるようになりたいです。人間看護学部 2年



それぞれの医療機関が地域の中核医療機関として果たしている機能に違いがある事を学びました。医学科 第1学年

マキノ病院

西村病院長から病院の概要や特色についてお話をいただき、学生からの質問に対して、総合診療医は幅広く様々な疾患に対応する必要があり、本院ではマンパワーが不足している診療のサポート対応、回復期・慢性期の様々な疾患への対応が必要であるので、色んな経験をしてくださいとお話しいただきました。



急性期から慢性期まで広く受け入れるということに驚かされました。外科から総合診療への移行した先生のお話もとても勉強になりました。医学科 第1学年



里親学生支援のホームページ (<https://www.shiga-med.ac.jp/~satoova/>)をご覧ください!

研修の様子は里親HPにも詳しく掲載しています!!